



第2回町政への提言

12月10日（木）、幌加内高等学校（校長：山城誠）の3年生が町の発展に必要な施策をまとめた「町政への提言」を発表しました。

13名の生徒が「農業・産業班」「教育班」「医療・福祉班」「観光班」の4班に分かれ、「知名度向上のためにはSNSの活用が必要」、「雪かきアルバイトとして、私たちと除雪に苦労される高齢者をつなげる仕組みづくりを」と細川町長や小川議長ら関係者30名に発表しました。細川町長は「できることから取り組みたい」と回答がありました。



双葉保育園～おゆうぎ会～

12月7日・8日、双葉保育園（園長：宮川道子）でおゆうぎ会が催されました。例年とは異なる形での開催となりましたが、園児たちは、自分たちの出番がくるとやる気スイッチがオン！手作り衣装や小道具が園児たちの可愛さを引き立てながら、今まで練習してきた踊りや太鼓を披露する姿に、お父さん、お母さんからたくさんの温かい拍手が贈られました。



ほろかない サンタプロジェクト

12月15日（火）、「ほろかないサンタクロース」から町内の社会福祉施設へ令和2年幌加内産「きたゆきもち」を贈呈しました。

ほろかないサンタクロースから「令和2年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいながらも、施設内外での対策に万全を期されて感謝しています。新年を迎えてもコロナに負けない願いを込めて」と各施設職員に御礼の言葉を贈りました。また町内各学校へは、全児童生徒宛てにクリスマスプレゼントを贈りました。



写真：特定非営利活動法人「よるべさ」への贈呈式



子供そば打ち体験教室

12月13日（日）、そば道場運営委員会（委員長：坂本勝之）は幌加内町の文化である「そば打ち」に親しんでもらうため、町内の小学生を対象とした「子供そば打ち体験教室」を開催しました。

初めてソバ打ちをする児童も含めた15名が、講師たちから「水回し」「練り」「のし」「切り」とソバ打ちの基礎指導を受けました。

児童らは「ソバ打ちは難しいけど、とても楽しい。帰ったら茹でて食べる♪」と満足した様子でした。





幌加内町功労者表彰式

1月14日(木)、町民研修センター「住民研修室」で幌加内町功労者表彰式が挙行政され、今年度は、大山和彦さんが「町功労章受賞者」に選ばれました。

大山さんは、多年にわたり本町の医師として地域医療に従事し、住民の健康の確保に積極的に取り組み、保健衛生の向上に多大な貢献をされた功績が認められたことから、この度の受賞となりました。

表彰式では、細川町長が町の発展に尽くされた長年のご苦勞とご功績に対する感謝の気持ちを述べ、表彰状を手渡しました。



大山 和彦さん
(母子里)

町立朱鞠内診療所長(平成21年4月1日から現在)、町立国民健康保険病院院長(平成16年6月1日から平成20年6月30日)、町立国民健康保険病院医長(平成15年4月17日から平成16年5月31日)など歴任され、町勢の発展に大きく寄与されました。



町もち米生産組合より 鏡餅が寄贈されました。

12月23日(水)、町内のもち米農家19戸で組織する町もち米生産組合(組合長:古林茂)から鏡餅を寄贈いただきました。

同生産組合では、今年の出荷を無事に終えたことへの感謝と来年の豊作を祈願して、毎年寄贈していただいております。

下段21cm、上段18cm、重さは約6kgあり、幌加内町産の「はくちょうもち」を使い作製した鏡餅となります。



郵便局からアマビエ切 手が寄贈されました。

12月18日(金)、幌加内郵便局(局長:川原誠)、朱鞠内郵便局(局長:田中義博)から北海道限定の疫病退散アマビエの記念切手シートを寄贈いただきました。川原局長、田中局長は「新型コロナウイルス感染症の早期終息の祈りを込めて」と細川町長に記念切手シートを手渡しました。

切手は役場庁舎正面玄関前ロビーに展示しております。

